

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査の分析について

## ※国語

### <よい内容>

- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる。
- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができる。

### <課題のある内容>

- ・表現の技法について理解する。
- ・事象や行為、心情を表す語句について理解する。
- ・論理の展開などに注意して聞く。
- ・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える。
- ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する。

### <指導のポイント>

- ・表現技法とその意味や用法と結び付けて理解し、実際に使わせる。また表現技法の種類を整理して理解できるようにする。
- ・知らない言葉に関心を持ち、辞書などを引いて語句の意味や認識を深めるようにする。
- ・話し手の考えをただ聞くだけでなく、相手の考えや意見の要点を捉え、それに対する根拠の適切さを判断しながら聞いたうえで、自分の意見をまとめることができるようにする。
- ・細部の描写にも着目させながら物事の様子や場面、行動や心情などの変化を丁寧に捉えることができるようにする。



## ※数学

### <よい内容>

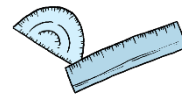
- ・「選択式」の問題では、ほぼ全員が解答をしており、取り組もうとする意欲が見られる。
- ・「短答式」の計算問題。
- ・『数と式』、『データの活用』においての問題。

### <課題のある内容>

- ・『数と式』では、より正確な計算が求められる。また、「記述式」の問題において無回答が多く見られた。
- ・『図形』では、図形の性質や定理などの理解をより求められる。また、証明の記述の仕方が理解できていない。
- ・『関数』では、式の作り方や、式とグラフの関係性が理解できていない。
- ・『データの活用』では、データの傾向を性格に捉えることができている。また、捉えた傾向を正しく表現できていない。

### <指導のポイント>

- ・授業の中でも演習時間を多くとり計算方法を覚えるとともに、正確性や速度を向上させる。
- ・用語や性質、定理、公式などの知識を身につけさせる。それによってただしく物事を捉え、正確な判断をできるようにする。
- ・教え合いの時間を活用し、解法や性質の説明などを伝える練習をする。また、ともに考える中で他者の考えを聞き、自分に取り入れられるようにする。
- ・グループワークを活用し、資料を“見つける”、“まとめる”、“伝える”練習を重ねる。



## ※理科

### <よい内容>

- ・物体が静電気を帯びる現象。
- ・タッチパネルと水の関係性を調べるための実験内容 日常生活との関連が大きい内容。
- ・測定した気圧と天気図に表す気圧の関係。
- ・分子のモデル図を基に化学反応式で表す。



### <課題のある内容>

- ・無解答の多い問題での正答率が低い。
- ・記述問題での無解答が多い。
- ・選択問題においても、グラフを用いた問題や図の読み取り問題を苦手とする傾向がある。
- ・フックの法則を用いた測定範囲に関する問題。
- ・示相化石に着目して陸の変動した方向を推論する問題。

### <指導のポイント>

- ・用語などの暗記は、比較的身につけやすいので、日頃の授業から反復学習を心がけ、さらなる知識の定着をはかるようにする。
- ・既存の知識や図・グラフを用いて、答えにたどり着くためのプロセスを導き、表現したりすることを苦手としているため、公式を暗記させるだけでなく、理解して使えるように丁寧な説明を心がける。
- ・実験の考察で、より活発なグループワークになるように時間のとり方や発問内容を工夫する。

## ※総評(生活面について)

- ・生活面においては、基本的な生活習慣が身につけている生徒が多いが、一方で就寝・起床時刻が不安定で遅刻してくる生徒もおり、不安定さがある。
- ・スマホやSNSの利用によって生活習慣のみならず、人間関係のトラブルが多く発生しており、対策が必要である。
- ・学習面では、学習時間の短さが近年の課題である。また、「話し合いを生かす」ことができておらず、今後の授業や学校生活で充実させていく。
- ・地域行事への参加者は多いものの、地域のために何をすべきか考える生徒は多くない。地域に根ざし、地域とともに歩む学校として、今後地域教材の導入や人材を活かした学習について、強かに推進していく。
- ・今回の学習状況調査の結果をふまえながら、授業のユニバーサルデザイン化を継続しつつ、生徒の自治的態度や自己教育力の育成をめざして、生徒が社会で力を発揮できるよう、教育実践を重ねていく。